

町を襲った台風15号の脅威



9月9日未明、強い勢力をもって関東地方に接近した台風15号は、千葉市で最大瞬間風速57・5m/sを記録し、記録的な暴風雨となりました。芝山町においてもその勢力は凄まじく、町のいたるところで木々や電柱をなぎ倒し、家屋の屋根や農業用施設などに甚大な被害をもたらしました。

この影響により町内全域で停電や断水、電話などの通信機器の不通、倒木による通行止めなどが発生し、台風通過後の変わり果てた町の様子は今までにならぬ光景となりました。特に、電柱や電線への被害状況が大きかったことで、想定よりも停電が長引き、最も遅い地域では10日以上も停電が続きました。

これらの状況を一日でも早く解消すべく町の災害対策本部が主導となり、水や食料・電源・ブルーシートなどの物資を提供するために町内外で多くの災害支援施設が開設され、自衛隊・消防本部・消防団などによる救援活動や屋根の応急処置作業、地元企業による交通障害となる

倒竹木の撤去作業、東京電力による電線・電柱の復旧作業などが昼夜を通して行われました。

さらに、町内外の多くの企業や個人・地域ボランティアの方たちからも災害支援活動に対するご協力とご尽力があったことや、全国各地から水や食料、生活品などの物資が支援されたこととで長期化した停電期間を何とか乗り切ることができました。

11月となった現在、収束にむけて一歩ずつ歩みを進めています。台風の被害は大きく、家屋や農業用施設・農業者に対する復旧や支援がまだまだ残されている状況です。町としても、それらの対応を急務とし、国の事業や補助金などを活用しながら一日も早い復興にむけて取り組む必要があります。

また、追い討ちをかけるように発生し日本列島で甚大な被害をもたらした台風19号。幸い当町では大きな被害はありませんでしたが、またいつこのような災害が起きるかは予測がつかない状況となっており、これからの地域防災力の向上や災害への準備・対策についてもよりいっそう強化していかなければなりません。